



日本カトリック海外宣教者を支援する会

巻頭言

「全世界に行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい」

(マルコ福音書 16 章 15 節)

さいたま教区司教 マリオ 山野内 倫 昭

初めて日本人宣教師たちと出会った司牧大会 (ロンドリナ 1985 年)

私は 1984 年 12 月 21 日、アルゼンチンで 29 歳のとき司祭に叙階されました。すぐサレジオ会コルドバ管区の哲学生養成メンバーとして派遣されました。2 か月後、ブラジルのサンパウロ市で長い間宣教師として滞在していたレオナルド松尾繁司神父に声を掛けられ、その年の 7 月にロンドリナで行われた、日本ブラジル人司牧大会に参加することとなりました。

日本より 21 倍面積の広いブラジルを初めて訪れ、サンパウロから西に 500 キロ離れたロンドリナ市までバスで 6 時間以上かけて行き、初めて日本人宣教師 (80 人以上の男女) と会える恵みをいただきました。アルゼンチンからは名古屋のカテキスタ会の清水みちこさんと一緒に行きました。一週間後に帰ろうとしたときは、すべての航空会社がストライキで便がなく、36 時間かけバスでブエノス・アイレスへ帰りました。ちょうど同じ年にアルゼンチン国籍を取得、日本国籍を失いました。その年の 10 月末から翌年 1 月末まで、ローマのサレジオ会総本部で養成者の研修会に参加し、多くのサレジオ会の宣教師たちとも初めて触れ合うことができました。

♡♡ もくじ ♡♡

巻頭言	1
第 73 回運営委員会議事録	3
宣教師からのお便り	9
ザ・メッセージ ECHO	13
こんにちは! お久しぶりです	14
新入会員・事務局より	16



ロンドリナで受けたショック、「私はまだ日本人なのか？」

ロンドリナに到着し、多くの宣教師たちの集まった会場に入った途端、急に、「私はまだ日本人なのか？」との思いが湧いてきました。最初の昼食はカレーライスでした。大きな鍋から懐かしいカレーの匂いがし、もう数年間食べてなかったカレーを食べ、美味しく感じたのです。しかし、食べ物より参加者たちがポルトガル語ではなく、日本語で話しているのに驚き、会話が通じなくて不安を感じました。わたしの日本語は小学校2年生までのレベルで止まったまま、とくにキリスト教的な用語はまだ学んでいませんでした。1997年2月末に日本に帰国した時と同じような気持ちでした。日本で生まれた私には、もう日本語が母国語ではないという体験は辛かったです。

日本人宣教師の使命はまだ続いているが…

2018年度版の海外宣教師名簿を見ると、日本から海外へ派遣されている宣教師は250人を超えていますが、その平均年齢は分かりません。おそらく何十年も宣教地で働いている方も多いのではと想像します。その派遣先は、アフリカ、アメリカ北部、中部、南米、アジア、ヨーロッパ、そしてオセアニアです。一番多く派遣されているのはブラジル、次いでフィリピン、イタリア、ボリビア、カンボジアとフランスの順です。38の女子修道会、10の男子修道会、そしてJLMM(カトリック信徒宣教師会)からも派遣されているけれど、日本からの新しい宣教師の海外派遣は、この数年間減少していることも知りました。

最後に、消えない希望

「きずな」が行なっている奉仕は、海外宣教師たちを支えることです。そのために宣教師の派遣についてビジョン(方針)を改めて再認識したいと思います。宣教師を派遣するときには、自分の国の奉獻者が余るから派遣するのではなく、少ない召命のときでも惜しまず優れた人を派遣します。そのお陰で、日本という宣教地も豊かになりました。一人の宣教師を寛大に捧げた修道会や教区は必ず神様から新しい召命に恵まれます。



皆さん、この希望をもって海外宣教師のために祈り続け、支援を継続して下さるようお願いいたします。イエス様が宣言された神の国の到来、実現のために、一人でも多くの宣教師たちが必要な地に派遣されるように祈りましょう。

(当会の顧問司教に就任)

□■□ 第73回運営委員会議事録 □■□

日 時：2019年6月15日（土） 15:00~16:30

場 所：六本木・聖ヨゼフ修道院 2階会議室

議 事

I. 2018年度活動報告：すべて承認された。

◎所在地 東京都港区六本木4-2-39

◎委員 顧問司教：押川壽夫司教（那覇教区）年度末で退任

会 長：M.マタタ神父（淳心会）12月末で退任

運営委員：伊藤厚志、井上毬子、桐野 香（マリアの宣教者フランシスコ修道会）、後藤由美子、島上麻子、諏訪なほみ、友松真千代、長井 甫、波多野光男、波多野真理子、日高和子（聖心侍女修道会）、牧野ゆみ子、山田真知子、八幡とも子

◎会 議 運営委員会開催 2018年6月9日、9月8日、12月8日、2019年3月16日

◎諸活動

1) 広報活動

1. 宣教地からのレポートと国内会員の声などを掲載した広報誌「きずな」を年4回（6、9、12、3月）発行し、国内会員と海外で働く宣教者に送付し相互の交流と宣教者の現地活動を、日本の多くの人に伝えた。

ホームページも定期的に更新。会員外にも広く活動を告知。

2. 海外宣教者のお話を聞く会

2018年10月27日（土）ニコラバレに於いて菊地大司教のアフリカ、ガーナなどでの宣教のお話に100名ほど参加。

2) 援助活動

世界各地の宣教者から申請のあった援助について、資料を基にして実情や内容について運営委員会で検討し、緊急性や必要性の高いものから援助を決定し、実行。

当年度の支援総額5,188,180円で、その詳細は別紙の通り。（P5参照）

3) 宣教者への支援活動

寄付されたカトリック雑誌などをアフリカ、南米の国中心にお送りした。

カトリック新聞等もお送りした。

4) その他

・宣教者の事務局訪問も多く2018年度11人 宣教者達に直接送られている会報「きずな」は他の宣教者の様子を知ることや宣教地での交流を生み、事務局、会員と繋がることで宣教者支援となっている

- ・海外宣教師全員にクリスマスカードを送付 国内司教様他関係者にも送付
- ・会のパンフレットリニューアル
- ・「宣教師名簿 2018」を作成し次年度に送付
- ・教会バザー：徳田教会のバザーに参加し、収益金の目的だけでなく、当会の宣伝、啓発に寄与することができた
- ・本年もボランティアによる「きずな」発送が瀬田の修道院で4回行われ、参加数は延べ80人

II. 2018年度決算報告：別紙のとおり承認された。

- ・援助申請は少なかったが、寄付合計金額はほぼ従来通りになった。
- ・海外宣教師名簿とパンフレットが同時進行だったので、仕事量も経費も増えた。
- ・海外便は、日本クーリエの都合ですぐ船便が出ないため、今回遅く送られることになる。
- ・カトリック新聞の広告を見て会員になってくださった方がいた。今年度も契約。
- ・2018年度の新入会員は21名。
- ・会計監査は5月10日に終了。

2018年度 会計決算

(1)入金部

海外宣教師を支援する会

(金額単位: 円)

項目	2018年度予算額	2018年度決算額	摘要
会費寄付金入金	9,500,000	9,156,579	
基金取崩し	0	0	
雑収入	0	0	
預け金利息	20	28	
前年度剰余金	5,187,977	5,187,977	
合計	14,687,997	14,344,584	

(2)出金部

(金額単位: 円)

項目	2018年度予算額	2018年度決算額	摘要
援助費	6,000,000	5,188,180	援助申請が少なかった
研修費	60,000	42,900	講演会謝礼含む
基金繰入	0	0	
広報	750,000	1,079,084	「きずな」年4回発行・新聞広告・パンフ・名簿

運 営 経 費	印 刷 費	550,000	424,078	封筒・宛名印刷・コピー
	通 信 費	1,300,000	1,279,621	「きずな」国内外発送等送料・電話代
	事 務 用 品 費	50,000	10,434	宛名ラベル・コピー用紙等
	維 持 管 理 費	1,800,000	1,577,790	事務所維持費
	支 払 手 数 料	90,000	101,814	振込・送金手数料
	交 通 費	170,000	155,400	「きずな」発送・会議参加他
	会 議 費	20,000	20,000	運営委員会年4回室料
	雑 費	50,000	44,898	退任饞別,修道院へお歳暮,ソフト
	備 品	20,000	2,293	電卓、カトリック情報ハンドブック2冊
	予 備 費	0	60,000	支援金の返金
	小 計	4,800,000	4,755,412	
当 期 支 出 合 計	10,860,000	9,986,492		
次 期 剰 余 金	3,827,977	4,358,092		
合 計	14,687,977	14,344,584		

2018年度援助費

NO	国名	金額(円)	内容
1	カンボジア	563,400	JLMM 井手司氏よりカンボジア水上村の教会補修工事一式・通学船補修
2	チャド	142,000	シスター泉淑美(R.E.J)小教区センターベッドのマットレス半分の30枚分
3	チャド	200,000	シスター平静代(R.E.J)ライの学校、学生のためのパソコン一式
4	ハイチ共和国	690,000	シスター小井手恵美子(R.E.J)ノートルダム・デュ・サクレール診療所充実のため機材、用具などの購入
5	ペルー	1,062,938	シスター秋永みすえ(S.C.G)アントニオ・カヴォリ学園が国に認められるため存続をかけた設備対策
6	インドネシア	1,308,000	シスター井上千壽代(聖心会)ジャカルタ ムバタ村の教会への移動手段他として車購入
7	カンボジア	400,000	シスター橋本進子(R.E.J)カンポットセンター・5つの村の図書館充実のため、本購入費、管理費(人権費含む)など

8	カンボジア	648,182	シスター黒岩あつ子(R.E.J)シエムリアップ アンテイエスクールのホールなどで使用するスピーカー購入費
9	国内	173,660	日本から世界の宣教師へカトリック雑誌海外発送費・カトリック新聞購入送付費・クリスマスカード作成費
	合計	5,188,180	

*レートは一律ではありません。

2018年度 貸借対照表

2019年3月31日現在
(金銭単位 円)

資産の部		負債及び剰余金の部	
郵便局振替貯金	1,582,210	期末剰余金	4,358,092
みずほ銀行高田馬場駅前支店	2,741,321		
小口現金	34,561		
合計	4,358,092	合計	4,358,092

援助基金内訳

	金額単位(円)	金額単位(ドル)
郵貯銀行	9,797,775	
三菱東京UFJ銀行 普通預金	4,326,787	
小計	14,124,562	
みずほ銀行高田馬場支店 外貨普通預金	913,461	8,230.12
合計(参考金額)	15,038,023	8,230.12

援助基金推移詳細

郵貯銀行	前年度繰り越し	9,625,108	
	利息	172,667	
	小計	9,797,775	
三菱東京UFJ銀行	前年度繰り越し	4,326,751	
	寄付	0	
	利息	36	
	経常勘定へ	0	
	小計	4,326,787	
みずほ銀行外貨預金	前年度繰り越し	910,924	8,207.26
	利息	2,537	22.86
	小計	913,461	8,230.12
	総計	15,038,023	8,230.12

* (1 \$ = ¥ 110.99) 3月31日現在

2018年度 会計監査報告

2018年度会計報告を監査したところ適正であることを認めました。

2019年5月26日

監査役 長井 甫



Ⅲ. 2019年度の活動計画・予算審議：別紙のとおり承認された。

- ・5月16日にSr. 桐野、Sr. 日高、事務局 山田で山野内倫昭司教（さいたま教区）と面会、「支援する会」の顧問司教を正式に引き受けてくださることになった。
- ・会長は、フランシスコ会内のどなたかをお願い出来ないか、依頼中。
- ・本日から、新運営委員として中村文子さん（徳田教会）が参加。
- ・10月5日（土）ニコラバレ 13：30～15：30「宣教者のお話を聞く会」の講演者は、Sr. 佐野（マリアの宣教者フランシスコ修道会）に決定。もう1名検討中。
- ・12月5日の瀬田での発送作業に、運営委員数名が参加する予定。

2019年度 会計予算表

(1)入金部

(金額単位：円)

項目	2018年度決算額	2019年度予算額	摘要
会費寄付金入金	9,156,579	9,000,000	
基金取崩し	0	0	
雑収入	0	0	
預け金利子	28	20	
前年度剰余金	5,187,977	4,358,092	
合計	14,344,584	13,358,112	

(2)出金部

(金額単位：円)

項目	2018年度決算額	2019年度予算額	摘要
援助費	5,188,180	6,000,000	

研 修 費	42,900	50,000	講演会講師交通費、謝礼他	
基 金 繰 入	0			
運 営 経 費	広 報	1,079,084	1,100,000	「きずな」年4回発行・新聞広告他
	印 刷 費	424,078	500,000	封筒・宛名印刷・コピー
	通 信 費	1,279,621	1,300,000	「きずな」国内外送料・電話・郵便・サーバー費
	事 務 用 品 費	10,434	20,000	ラベル・コピー用紙他
	維 持 管 理 費	1,577,790	1,580,000	事務所献金・人件費1名・電気代・団体登録費
	支 払 手 数 料	101,814	120,000	振込・送金手数料
	交 通 費	155,400	160,000	「きずな」発送・会議参加他
	会 議 費	20,000	20,000	運営委員会年4回
	雑 費	44,898	45,000	弔慰金・PC関係ソフト・周辺機器他
	備 品	2,293	3,000	情報ハンドブック等
	予 備 費	60,000	0	
	小 計	4,755,412	4,848,000	
当 期 支 出 合 計	9,986,492	10,898,000		
次 期 剰 余 金	4,358,092	2,460,112		
合 計	14,344,584	13,358,112		

IV. 「きずな」147号について

- ・相変わらずお便りが少ない。今回は東日本大震災復興・支援活動ニュースから一部掲載した。
- ・写真のキャプションは該当者が分かるようにつける。
- ・表紙右下の花火のイラストは暗くてわかりにくかった。

V. 「きずな」148号の巻頭言について

- ・巻頭言は、山野内倫昭司教（さいたま教区）に依頼した。

VI. 援助申請審議について

1. チャド（ライ）のSr.泉淑美（ショファイユの幼きイエズス修道会）から、「識字教室のための教材費、教師たちへの援助費」として350,000円の申請があり、検討の結果、全額支援決定した。
2. メキシコ（チアパス）のSr.真神シゲ（ベリス・メルセス宣教修道女会）から、「人、荷物等を選び悪路を走り回るための車1台」の購入費として、1,000,000円の申請があり、全額支援決定。

3. 東ティモール（ディリ）の Sr. 中村葉子（聖心侍女修道会）からの申請として、2011年創立された、「ファヒレボ村聖ラファエラ幼稚園の遊具一式と輸送費」について検討の結果、190,000 円を全額支援決定した。

Ⅶ. その他

1. 「きずな」の瀬田発送については 6月6日（木）午前中に 3,110 部の発送作業終了した。エスコラピオス修道会ベトナム人志願者 3 名を含む 13 名のボランティアが参加。12月5日（木）に予定されていた発送ボランティアと運営委員のお茶会は、諸般の事情により、今回は見送ることになった。
2. 事務局発送について6月7日（金）海外分含む 227 部 4 名で発送作業終了。合わせて関係者に「海外宣教者名簿 2018」を同封発送した。大口発送は 360 円のレターバックやヤマトのメール便を使用。これからも節約してやっていきたい。
3. 「きずな 150 号(2020 年 3 月に発行予定)」は、記念号としてカラー印刷にする事を決定。内容については、編集会議を開いて検討して行く。
4. 本年度、事務所の冬休みは、12月24日（火）～2020年1月7日（火）予定。
今後の運営委員会日時 ◆2019年9月21日（土）◆12月7日（土） 両日とも 15 時～予定



宣教者からのお便り



メキシコ ◆チアパス◆

車を待つ日々

ベリス・メルセス宣教修道女会 真 神 シ ゲ

自動車が着いた喜びの連絡はまだのようです。販売店も取次店もない、僻地の不便さを感じています。取次店のある Tuxtla へは、車を飛ばして3時間ですから、なかなか行くチャンスがありません。車は決まっています、日産の黄色の小型トラックです。病人や荷物などを運ぶ多目的車です。

ソヤでは、教会の改修が始まりました。2年前のチアパス直撃の大地震で落ちた聖堂の屋根



村人の一致協力で屋根は修復



教会の修復作業



修復を行なう教会内部



修復を支える女性たち

の補修が、8月5日に完成しました。すべて村人達の手でなされたのです。全部手仕事でした。クレーン車も、シャベルカーも何もナシ。全てが人間の手でまかなわれていました。老人も女、こどもも一致協力。休み返上で行われました。「聖堂の修復作業は、政府が行う」の宣言は何処に行ってしまったのでしょうか？村人達の一

致協力ぶりは素晴らしかった！

私たちの共同体では、ロサが15日にメキシコに行き、難民、移住労働者のために働くことになりました。こちらでは、昨年来のアメリカへの大移動は、今も途切れることなく続いています。



ロサとの別れをおしむ人々

フィリピン ◆南コタバト◆

ローマでの総会に参加して

御受難修道女会 松田 翠

いつもカトリックの雑誌や印刷物をなどご送付いただきありがとうございます。皆様が海外で働く宣教者のために、貴重なお時間と労力をささげ、特にお祈りをもってご支援くださり、感謝しております。

この7月でフィリピンにまいりまして44年の年月が経ちました。その間、日本及びフィリ

ピンの国内のたくさんの方々のご支援のおかげで、4月29日に創立50周年を迎えることができ、感謝の心を新たにいたしました。

1月、2月にはローマで、女子観想御受難修道会の第1回総会があり、全世界から50名余りが集まり、一つの家族としての絆と一致を固めました。また、神が御受難の中で輝かせてくださった愛を、観想生活のなかで祈りによって、全世界に伝えるつとめを新しく認識する機会が与えられたことをうれしく思っております。

いつもご支援を本当にありがとうございます。

カンボジア ◆コンポルアン◆

学校・運動公園の修理

JLMM (信徒宣教者会) 井手 司

学校と運動公園の修理が完了しました。今回は、建物の下部にある大きな木の箱の修理についてお知らせします。学校の建物の下部にある大きな木の箱は、防水剤を塗布するだけの修理で、建物から取り外さず、職人さんが床下に潜り防水剤を塗布していきました。しかし、運動公園の大きな木の箱は、内部への浸水が始まっていたので、木材の補修と防水剤の塗布が必要でした。



防水剤を塗布している様子

運動公園の修理は、大きな木の箱を建物から取り出す必要があります。普段は、固定されていますので、釘などを取り外して、大きな木の箱に大量の水を入れます。大量の水が入る事により、大きな木の箱が沈み、建物から引き出すことができます。そして、箱を水から上げて、木で組んだ枠組みの上に、ひっくり返して置いて乾燥させます。その後、洗浄、木の補修、防水剤を3度塗っていきます。また運動公園の大きな木の箱は2つあるため、一つずつ修理しました。

当初は5月中旬までには修理を完了させる予定でした。今年は5月に雨が降る日数が例年に比べて多かったため、日数がかかりました。大工さんに聞くと「雨が降ると作業が出来ない。また豪雨の時は、新しく塗った防水剤が剥れてしまうことがある。雨が降らない事を願うしかない」とのこと。

工事期間が長くなった要因は人手不足も関係しています。現在、コンポルアン水上村に住んでいるベトナム人の多くがカンボジア籍も、ベトナム籍も持っていません。そしてカンボジア政府は、国籍を持たないベトナム人は、ベトナムへ帰るか、カンボジア籍を取得するように

指示しています。またベトナム政府も、国籍を持たないベトナム人がベトナムに戻って来た時には、ベトナム国籍を以前より簡単な手続きで取得できるようにしています。そのため、今年に入りベトナムへ帰るベトナム人が増えました。また、ベトナム人でも、カンボジア語を話せる若者は、首都のプノンベンやバタンバン等の都市部に出稼ぎに行く人が増えています。そのため、水上村の大工さんの人数が減ってきています。今回修理を依頼した大工さんは、他にも家の修理や船の修理等を請け負っていて、人手が足りていないと言っていました。また雨季には、家や船の修理を行う事が難しいため、乾季の時期に修理が集中します。

普段運動公園は、授業の休み時間に、子ども達が走り回って遊んでいます。水上で生活している子ども達は、学校に来た時にはとても楽しそうに走り周り遊んでいます。しかし工事期間中は、運動公園は立ち入り禁止でしたが、完了後はまた子ども達が安全に遊ぶことが出来るとも喜んでいました。



建物から大きな木の箱を取り出す

チャド ◆ライ◆

寮生たちが新しいものに挑戦

シヨファイユの幼きイエズス修道会 平 静 代

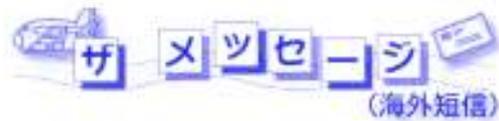
私共のベタニア寮のパソコン購入費のご援助をありがとうございました。今回は送金がうまくいかなかったようで、結局、チャド訪問の姉妹の手で届きました。本当はパリで、よいパソコンを購入したいと考えたのですが、うまくいきませんでした。

現地購入となり、改めて計画を練り直し、パソコン2台購入しました。「きずな」の皆様のご援助により、ベタニア寮の寮生たちがパソコンを学び、新しいものに挑戦する恵みをいただきました。「きずな」の皆様にご心からお礼申し上げます。

これからも皆様のお仕事が、多くの方々の助けと励みとなりますように、チャドからお祈り申し上げます。



ライ コロン村の子供たち



*** ショファイユの幼きイエズス修道会**

日本管区 チャドのためのご支援

いつも私共の海外宣教活動のために、ご理解とご協力をいただき心から感謝申し上げます。この度はチャドのために35万円のご支援をありがとうございました。大切に使用させていただきます。皆様の上に神様の豊かな祝福を祈りつつ。

*** モンゴル ウランバートル**

サレジアン・シスターズ 小島華子

日本は猛暑のようですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。この度2年に一度の休暇で帰国いたします。7月の半ばころ事務局をお訪ね出来たらうれしいのですが。その時、援助申請の書き方を教えていただけたら幸いです。



・: Br. ガルシアなどと宣教師とのつながりにより、夫は以前から会員でした。今年4月に帰

天しましたが、これからは私が引き継ぎたいと思います。 (東京都立川市 小川千加子)

・: きずな No.147 拝見しました。いろいろな国での皆様のご活躍を心から応援しております。お祈りと共に少しばかりの切手を送ります。お役に立てば幸いです。 (東京都 M.S)

・: きずな 147 号をありがとうございました。「宣教者からのお便り」はとても興味深く読ませていただきました。日本では体験できないことが多く、また困難も多々あると思いますが、いつか自分も何らかの活動に参加したいと思っています。 (山形県酒田市 真嶋)

・: 「きずな」読ませていただきました。初めて耳にする修道会もあり、世界のあちこちで過酷な状況にあっても生き生きと活動なさっているのですね。メキシコの車も早く購入出来たらいいですね!

(兵庫県神戸市 森口耀子)

・: 異常気象の半ば常態化、悲惨な事件の多発、、、自らができること、真摯に向き合うことに気づけますように。会の皆様のご努力に感謝申し上げます。 (匿名希望)

皆様のご支援をお待ちしております

1982年9月、世界各地へ派遣されている宣教師を日本から支援するためにこの会は設立されました。以来、困難な状況にあっても現地の人々と共に生活し、喜びも悲しみも分かち合っ

て活動する宣教師を物心両面から支援してきました。

これからも皆様からのいっそうのご支援をお願いいたします。

会費：個人＝1口／1か月 1,000円 法人・団体＝1口／1か月 10,000円
ほかに賛助会員として不定期にご支援いただくこともできます。

●銀行振替口座 みずほ銀行高田馬場支店 普通口座 2084112
日本カトリック海外宣教師を支援する会

●郵便振替口座 00140-5-67881 海外宣教師を支援する会

∴「きずな」をいつもありがとう！夫は天国に籍を移しました。これからは私が続けて読ませていただきますので、よろしく願いいたします。
(岡山県岡山市 齊藤妙子)

∴海外からの神父様がいらっしゃらない地区があると聞きました。よい神父様が多く誕生し、仲よく前向きに頑張れますようお祈りいたします。
(東京都江戸川区 宮澤悦子)



事務局訪問の宣教者

7月19日 ————— モンゴル



サレジアン・シスターズ

Sr. 小島華子

皆様、お元気でいらっしゃいますか？2年ぶりにモンゴルから帰国しました。昨年大統領選挙があり、全国民が「わいろ撲滅」を掲げて当選した新しい大統領に期待していますが、今のところ変化はありません。外国人に対するビザも厳しくなり、私たちカトリック宣教団も一寸先が見えない状況です。どのように対応していくべきかを、慎重に識別しながら活動しております。どうぞ、これからもモンゴル国

のため、そして私たち宣教師のためにお祈りをもって応援してください。

6月7日 ————— アメリカ



師イエズス修道女会

Sr. 丹野清子

27年の海外生活でいつも「きずな」を楽しみに読んでいました。休暇で帰るたびにお訪ねしようと思いつつも果たせず、帰国して10か月、念願かなって事務所の皆様にお会いでき、本当に楽しいひとときでした。海外宣教師ではなくなりましたが、また、お訪ねしたいと思います。

当会顧問司教プロフィール



司教 マリオ 山野内 倫 昭

やまのうち みち あき

- ・1955年 大分県佐伯市生まれ
- ・1975年 サレジオ会入会（アルゼンチン）
- ・1984年 司祭叙階（アルゼンチン）
- ・1997年 帰国
- ・2014年 サレジオ会日本管区管区長
- ・2018年 さいたま教区司教に任命される

事務局訪問へのお誘い

時々事務局に宣教地より一時帰国・完全帰国のシスターが訪ねてくださいますが、これからも帰国された宣教師の皆様、是非お気軽に事務局へ遊びに来てくださいますようお願いいたします。お待ちしております。様々な現地のお話を聞かせていただきたいと思います。

海外宣教者のお話を聞く会

日時：2019年10月5日(土)

13:30~15:30(13:00開場) 入場無料

場所：**ニコラバレ 9階** (JR 四谷駅より 2分)

お話をする人：

★シスター佐野浩子

(マリアの宣教者フランシスコ修道会)

- ・アフリカ コンゴで40年の宣教により
コンゴの現状とアフリカへの思いを語る

★村上芳隆神父

(フランシスコ会現管区長)

「フランシスカンの宣教者派遣ーパキスタン」

◇当会会長就任予定

当日ニコラバレ前で12:00整理券配布
100名

主催：日本カトリック海外宣教者を支援する会

新入会員 (敬称略)

個人会員 7名

高橋 昇 (新潟県上越市) 今枝 直子 (東京都港区) 大川 尚子 (青森県青森市)
清水 治美 (岐阜県岐阜市) 富澤 悦子 (東京都江戸川区) 下田 廣子 (福岡県福岡市)
岸上 庸子 (東京都狛江市)

事務局より

- ◎今年も暑い暑い夏でした。秋以降ローマ教皇様の来日で、国内は盛り上がりがピークになることでしょう。お会いできた方、どうぞ感想などお寄せください。
- ◎10月5日(土) 午後に「海外宣教者のお話を聞く会」を、四谷のニコラバレホールで行ないます。定員は100名で、参加費は無料。当日、整理券をニコラバレ前で12:00より配布します。
- ◎これまで通り、未使用の切手や書き損じはがきを集めています。ご協力をお願いいたします。

編集後記

◇異常気象という言葉は使いたくないと思いつつ、北極圏の氷河の崩壊や北極クマが北極海を氷に乗って漂っている映像など見ると、やはりショックを受ける。アフリカでは降雨量が減り、気温も上昇して、土地をめぐる遊牧民と農耕民のトラブルも発生とか。海水温の上昇で生態系に悪い影響が出ていると同時に、マイクロプラスチックが深海にまで達しているそうで、深刻な問題に…。酷暑の続いた今夏、背筋の寒くなるような映像をたびたび見てしまった！(す)



発行：日本カトリック海外宣教者を支援する会

〒106-0032 東京都港区六本木4-2-39

Tel. 03-5770-8753 Fax. 03-5770-8754

e-mail kaigai-senkyo@cronos.ocn.ne.jp URL <http://www.kaigai-senkyo.jp>

・銀行振替口座 みずほ銀行高田馬場支店 普通 2084112

日本カトリック海外宣教者を支援する会

・郵便振替口座 00140-5-67881 海外宣教者を支援する会